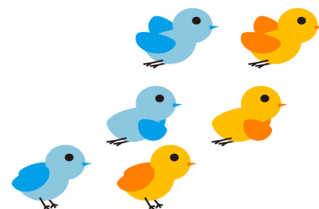


プログラムの内容



5月28日 多摩障害者スポーツセンター 第2集会室

「今、この社会でしょうがいをもつということ」

- ・しょうがいのあるなしでそれぞれ生まれた時と成長する過程で、周りがどんな風に対応し、期待するか、2パターンの意見を出し合い、それを元に話を展開します。

6月4日 多摩障害者スポーツセンター 第2集会室

「だれの問題？」

- ・トラブルの具体的な例を挙げて、関連人物の関係を書き出し、人間同志のやりとりを図にし、話を展開します。(プライバシーには充分注意します。)

6月11日 多摩障害者スポーツセンター 第3集会室

「自分を見つめる」

- ・日常的に困っていることなどの具体的な例を挙げて、ピアカンの手法で、時間を分け合って話を聞きあいます。

6月18日 未定

「支援者の力」

- ・支援によって、結果が変わる — 連想ゲームのようにどんなふうになるかを考えます。

6月25日 多摩障害者スポーツセンター 第2集会室

「ロールプレイを使って」

- ・実際に介助中にあったトラブル等を参加者とリーダーでロールプレーを行います。

7月2日 多摩障害者スポーツセンター 第2集会室

「自分をほめる」

- ・自分の良い所、素敵なお所、良くやっているところなどに気付きましょう。

※内容は変更になることもあります。

・参加者の感想・

勉強会は全体的に和やかな雰囲気の中で行われてとても楽しかった。出席するたびに何か気づかせてもらっているのだから、有るべきいまの自分の仕事ぶりをもう一度考えさせられて、見直させられた。介助は互いの信頼関係を築いた上でうまくいくもの。その信頼関係をどう作っていくのか常に考えなければならない。ストレスを感じたとき、トラブルが発生したとき、長年介助に入ってもいつも初心を忘れずにいることは、案外このような問題を解決してくれるかも。

